土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

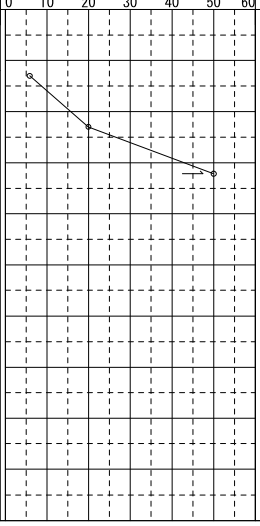
調査名	国道182号　設計業務委託（交通安全・下加茂工区）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	福山市加茂町下加茂(X=-157324.140,Y=107944.503)	北緯	34° 34’ 34.1840″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和2年11月10日～ 令和2年11月12日	東経	133° 20’ 35.4469″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 33.00m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				砂質土		暗褐	緩い		盛土 砂は細～中砂主体とし，粗砂が混じる 径3cm以下の亜角礫を少量混入する GL-0.7m付近，コンクリート殻を混入する	11/11 1.20
2	31.10 / 30.50	1.90 / 2.50		礫混じり砂		褐灰	中ぐらい		河床堆積物 砂は中～粗砂主体 径1～3cm以下の亜角礫～亜円礫を20～30%混入する	
3	29.70	3.30		花崗岩		茶灰			花崗岩の強風化土 風化が著しく進行し，砂質土状～砂状コアで採取される 岩級区分：DM	
4	29.00	4.00		花崗岩		淡茶灰				
5	28.00	5.00		花崗岩		淡茶灰			花崗岩の風化土 風化が進行し，砂～細礫状コアで採取される 岩級区分：DH 見かけ上柱状コアで採取されるが，潜在亀裂が発達している 岩深部まで風化し軟質である 所々，硬質な部分を残す 岩級区分：CL級	
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	3	2	1	6 / 300		
	1.45		70	130			
20	2.15	6	9	5	20 / 300		
	2.45						
50以上	3.15	32	18		50 / 130	130	
	3.28		30				

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/11